

市民が積極的に外国人を迎えられる環境整備を！

私たちが目指す関のまちづくりの宣言文

私たちの目指す姿は、「関を訪れる外国人が、気楽に滞在できる

(安全性・言葉の壁・自然体の交流ができる)」という

関市です。

そのために、「外国人を受け入れる体制が出来ていない」

という課題に取り組むことにしました。

課題の原因は「宿泊できる場所がない、民泊に興味のある市民のサポート体制が

ない、市民が外国人に対して苦手意識がある」ですが、今回は特に

「民泊に興味のある市民のサポート体制がない」に対して取り組みます。

これを解決するために、行政、企業、市民活動などの他組織の活動を踏まえ、

私たちは「事業の経験者がいる」という強みを生かし「民泊説明会・民泊模擬体

験」事業をすることで、関市の課題解決にもっとも貢献することができると考えてい

ます。

だから私たちは「民泊説明会・民泊模擬体験」をすることで、

「関を訪れる外国人が、気楽に滞在できる

(安全性・言葉の壁・自然体の交流ができる)」という関市を実現します。

# チーム「インバウンド〈外国人を迎える会〉」

## I 取り組んだ課題

外国人を受け入れる体制が出来ていない

### 【その理由と根拠】

このテーマにおける課題の原因は何か、担当課を交えながら、部会メンバーで議論しました。部会メンバーには、民泊経験者が2名いたことから、外国人宿泊客の視点や、インバウンドに興味のある市民の視点で課題を考案しました。

#### 1. 宿泊できる場所がない

岐阜県を訪れる外国人観光客は年々増えており、関市も、刃物まつりなどのイベントに来る外国人観光客も多くいます。しかし、せっかく訪れても、宿泊所が少ないため、長くは滞在できずに日帰りで帰るという課題があります。ホテルなどのほかに、市民間でも始められる民泊が増えることで、解決できるのではないかと考えます。

#### 2. 民泊に興味のある市民のサポート体制がない

市民の中には民泊に興味のある人や、外国人との交流に興味のある人がいると考えられます。しかし、民泊に興味のある人が独自で始めるには、とてもハードルが高いと考えられます。民泊について十分に説明を受けられる機会や、始め方などの情報を得られるようなサポート体制が必要だと考えます。

#### 3. 市民が外国人に対して苦手意識がある

関市で外国人を受け入れる体制を作るためには、市民が外国人を迎える気持ちを持つことが必要です。しかし、外国人を受け入れるにあたって、コミュニケーションや、安全面について心配し、苦手意識を持つ人も多いと考えられます。この不安を取り除くためのサポートも必要だと考えられます。

今回は、「民泊に興味のある市民のサポート体制がない」ことに対して、取り組むことにしました。

# チーム「インバウンド＜外国人を迎える会＞」

## Ⅱ 取り組んだ活動

### 「民泊模擬体験」の実施

まちづくり市民会議メンバーの民泊経験者を含め、民泊に興味のある市民へ民泊に関する説明会を実施しました。2度の説明会を設け、それを踏まえ民泊模擬体験を希望する参加者に対し、実際に関市内在住の外国人に宿泊してもらいました。事業実施後は、参加者へ感想や必要なサポートについてのヒアリングを実施しました。

#### ①民泊に関する説明会 ～民泊提供者の実体験や民泊に関する法律などを説明します～

日時：平成30年4月29日（日）17時～18時30分

参加費：無料

対象：民泊に興味のある方

開催場所：河合慶子さん（民泊経験者）宅

参加者：9名

#### ②民泊のハウスルールを決めよう

～民泊を提供する上で必要となるルール作りを説明します～

日時：平成30年5月27日（日）17時～18時30分

参加費：無料

対象：民泊に興味のある方

開催場所：河合慶子さん（民泊経験者）宅

参加者：4名

#### ③民泊模擬体験

～民泊提供者協力のもと、実際に関市内在住の外国人を泊めてみましょう～

日時：平成30年6月30日（土）～7月1日（日）15時～12時

参加費：無料

対象：民泊説明会を受けた方で、民泊模擬体験に参加できる方

開催場所：参加者の個人宅

参加者：参加者2組、宿泊した外国人3名

# チーム「インバウンド＜外国人を迎える会＞」

## 民泊受け入れ体験イベント ～民泊について学ぼう～

第6期まちづくり市民会議のチーム「外国人を迎える会」は、関市を訪れる外国人が気楽に滞在できるまちを目指すために、関市内における『民泊』の推進をコンセプトに活動しています。訪日外国人向けに空いているお部屋を有効活用したい方や外国人とコミュニケーションをとってみたい方などを対象とした説明会・催しを行います。

### ① 民泊に関する説明会

～民泊提供者の実体験や民泊に関する法律などを説明します～  
 ●日 時：4月29日(日・祝) 午後5時～6時30分  
 ●対 象：民泊に興味のある方  
 ●参 加 費：無料  
 ●集 合 場 所：河合慶子さん(民泊提供者)の自宅 関市山田1540-7

### ② 民泊のハウスルールを決めよう

～民泊を提供する上で必要となるルール作りを説明します～  
 ●日 時：5月27日(日) 午後5時～6時30分  
 ●対 象：民泊に興味のある方  
 ●参 加 費：無料  
 ●集 合 場 所：河合慶子さん(民泊提供者)の自宅 関市山田1540-7

### ③ 民泊模擬体験

～民泊提供者協力のもと実際に関市内在住の外国人を泊めてみましょう～  
 ●日 時：6月頃(詳細は後日告知します)  
 ●対 象：上記①②に参加した方  
 ●開催場所：民泊提供を検討されている方の自宅など

◆申込み・照会先：市民活動センター ☎24-7772



(上) 広報せき 4月号掲載内容

(右) 4月・5月説明会の様子



(上) 民泊模擬体験、(下) 模擬体験後のヒアリングの様子

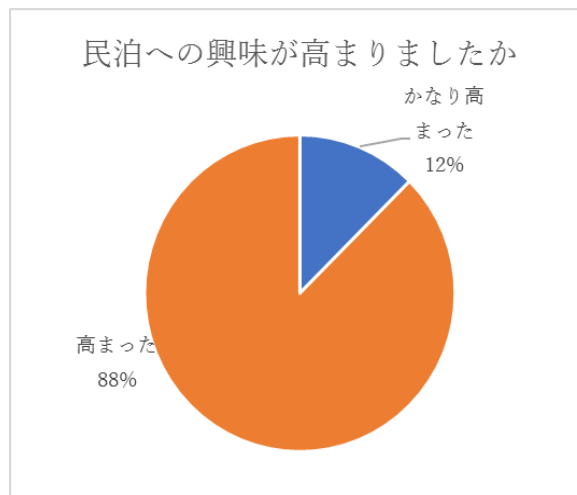
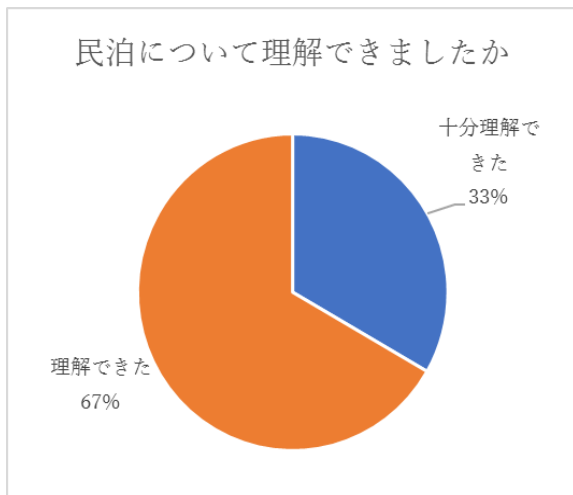


## チーム「インバウンド＜外国人を迎える会＞」

### Ⅲ 実施結果

・4月民泊説明会開催後のアンケート結果

アンケート回収数：9通（回収率100%）



Q. 民泊に関して、不安な点はありますか？

宿泊スペースの確保

登記

英語がしゃべれないこと

むずかしそう

食事やアクセスについて不安

仕事や育児（子どもがいてもOKか）、仕事の副業は大丈夫か

## チーム「インバウンド〈外国人を迎える会〉」

- ・民泊模擬体験後のヒアリング結果

ホストから：

今回は（ホストの）子どもが積極的に参加したいということから参加した。  
実際にはじめるときは、言葉の壁やコミュニケーション能力、家族の理解が必要だと感じた。

コミュニケーションについては、なにか困ったときのホットラインがあると安心。

（民泊の申請までした方）

部屋をどう使ってもらうのか、お客さんが見えたことで、普段の生活リズムに不便さを感じた。

民泊申請は何度も管轄まで行き来をした。

はじめから必要な資料について丁寧に教えてもらったり、申請書が細かくて見えないから入力サポートが欲しい。

### 第 6 期関市まちづくり市民会議(〈インバウンド〉外国人を迎える会チーム) 収支決算書

	区分	科目	単価	数	計	
収入					0	
			収入合計		0	
	区分	科目	単価	数	計	備考
支出	傷害補償保険	保険対象者 5 名	1,582	5	7,910	保険フジヨン
	国内旅行保険	保険対象者 3 名	290	3	870	保険フジヨン
	レンタルスペース料	河合慶子さん宅レンタル料	4,000	4	16,000	2,000 円/H * 2H * 4 回分
			支出合計		24,780	

△ 24,780

## チーム「インバウンド〈外国人を迎える会〉」

### IV その成果と見えてきた課題

#### 〈成果〉

- ①アンケート結果から、すべての人が「民泊について理解できた」「民泊への興味が高まった」と回答していただけました。また、当日の様子から、民泊仲介業者からの民泊の状況や民泊新法の説明を受けるだけでなく、実際の民泊経験者から自宅でのルールや心構えなどの話を聞いたことで、参加者の民泊へのイメージが深まりました。
- ②民泊の模擬体験を行ったことで、実施へのハードルを下げる事が出来ました。今回は宿泊者、宿泊提供者共に保険をかけ、またコミュニケーションがどうしたもうまくいかない場合や万一の事態に備え、民泊経験者と行政担当者の連絡先を予め伝えておいたことで、安心して模擬体験を実施することが出来ました。

#### 〈課題〉

##### ①家族への理解が必要

民泊の模擬体験を行った2組の参加者から、「自分一人ではできず、家族の協力が必要」と声を頂きました。また、1組の参加者からは、「家族の中でもコミュニケーションをとるのが苦手な人がある。それぞれの実施者がどうやって始めたのかを知りたい」という感想を頂きました。この感想は、民泊説明会を受けた方の感想にも「不安」という声が上がっていることにもつながります。民泊を始めるにあたって、どのように始めることが出来たのか、事例を民泊に興味のある方に提示することが必要であると考えます。

##### ②民泊の手続きが煩雑

民泊の模擬体験を行ったもう1組の参加者は、既に民泊の登録申請まで進められた方で、「手続きが大変」という声が上がりました。現在は民泊新法が設立され、各窓口が対応しきれていないという現状がありますが、それを除いても、多くの申請書類が必要で、何度も窓口へ行き来する必要があるため、とても面倒との声を頂きました。今後、民泊に興味を持つ方の中にも、申請書類の作成が不得意な方が見えると考えられます。申請の手続きに関して、少しでもハードルを下げ、申請しやすい環境を整えることが必要であると考えます。

## チーム「インバウンド〈外国人を迎える会〉」

### V 提案と提案理由

提案 1	民泊に興味のある市民へ、民泊に関する説明会を定期的を実施してください。 また、民泊経験者も説明会に参加するような説明会を実施してください。
提案 する課	観光交流課
概要	1ヶ月に1回程度など定期的に、市民に向けて民泊の状況や、法律、申請方法に関する説明会を設けてください。 また、その説明会に市民の民泊経験者による体験談を話す機会を設けてください。

提案 2	民泊の申請がしやすくなるよう、書類作成のサポート体制を作ってください
提案 する課	観光交流課
概要	民泊申請には、多くの手続きや申請書類が必要です。申請書類の記入作業の軽減のため、確定申告会場での税務署のサポート体制のような、書類作成を手取り足取りサポートしてください

提案 3	民泊登録者のために、関市内外のイベントや観光情報を提供してください。
提案 する課	観光交流課
概要	民泊登録者へ、民泊申請時に、関市近辺の観光情報やイベントなどの年間行事などが集約されたパンフレット・マップを提供してください。

提案 4	関市内の民泊を実施した市民がどこで実施しているか、また民泊の始め方を集めた事例を情報として集約・閲覧出来るようにしてください。
提案 する課	観光交流課
概要	関市内の民泊を実施した市民がどこで実施しているかをリーフレットのような形で集約してください。 また、民泊の始め方（どのように家族の協力を得たのか、どのような手順で始めるに至ったのかなど）を集めた事例を民泊説明会時に渡すなど、情報として発信し、民泊を始めたい方へ周知してください。



## チーム「インバウンド〈外国人を迎える会〉」

<b>提案の理由</b>	<p>1. 民泊に興味はあるものの、やり方が分からない人のために、実際の民泊内容（泊まり方）や民泊申請に必要な手順を事前に知り、検討できる機会が必要です。1ヶ月に1回程度など定期的に、民泊に関する説明会を設けることで、取り組み方を周知できます。</p> <p>また、市民の民泊経験者も説明会に参加することで、説明会後も、市民同士仲間として集まり、細かなアドバイスやフォローを行うことができます。</p> <p>2. 民泊申請には、多くの手続きや申請書類が必要です。特に、不得意な方は、申請書類の記入作業に苦勞されると考えられます。税務署のe-Taxのような、書類作成のサポートをお願いします。</p> <p>3. 民泊に興味のある市民は、「外国人と交流したい」という思いをもつ方が多く見えます。</p> <p>宿泊中に、市民が外国人に関市近辺の情報を提供することで、より満足度の高い宿泊になると考えます。</p> <p>そのため、ゲストにも関市近辺の情報が渡るように、関市近辺の観光情報や年間行事などが集約されたパンフレット・マップを民泊登録者に提供してください。</p> <p>4. 関市内の民泊を実施した市民がどこで実施しているかを（リーフレットのような形で）集約することで、関市での宿泊を考えているゲストへのアピールになります。</p> <p>また民泊の始め方を集めた事例を情報として発信することで、これから民泊を始めたい方への意欲の向上につながります。</p>
--------------	--

### VI 今後の展開

民泊を関市で推進し、外国人に気楽に滞在できる環境を整えるためには、行政と市民双方で推進することが必要です。市民間では、個々で独立して民泊を運営するのではなく、経験者間や興味のある市民で情報交換を行い、互いに交流することで、横のつながりが生まれます。そのようなネットワークを形成するために、その窓口として上記の提案内容を行政で整備してもらいたいと考えます。また、関市の民泊が推進されることで、行政と市民だけでなく、企業や事業者も積極的に取り組む姿勢が生まれます。協賛店を募ることによって、ゲストに割引券、チケットの配布をしていただき、関市のインバウンド事業の活性化が望めます。